

I 学校経営計画

(1) 学校教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を通して、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、社会の中で明るく心豊かにたくましく「生きる力」を育成する。

① 目指す学校像

- 安全安心な環境のもと、楽しく元気に学べる学校
- 児童生徒・教職員・保護者が「夢」をもち、共に歩む学校
- 教職員が自信と誇りをもって、勤務できる学校
- 保護者・地域・関係機関に開かれた学校

② 目指す児童生徒像

- 笑顔で「あかるく」元気に活動する子
- 自分を大切にし、友だちと「なかよく」助け合う子
- 心身ともに「たくましく」、夢に向かって最後まで頑張る子

③ 目指す教師像【児童生徒、保護者、地域との信頼を築き、大切にする教師】

- 児童生徒一人一人に寄り添い、気持ちを共有できる教師
- 児童生徒の可能性を信じ、共に学ぶ教師
- 探究心をもち、仲間と協働して専門性を高められる教師
- 保護者や地域とのつながりを大切にし、成長を共に喜べる教師

(2) 中期的目標

- ① 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実と「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に努める。
- ② 児童生徒一人一人の社会自立と社会参加に向け、学校全体で系統性のあるキャリア教育を推進する。
- ③ 保護者、地域、関係機関との連携・協働を通して、学校の専門性を高めるとともに、地域貢献に努める。
- ④ 服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成を図り、不祥事ゼロを継続して信頼される学校づくりに努める。

(3) 本年度の重点目標

- ① 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
 - ・「やってみたい」「できた」「わかった」「もっとやりたい」を実感できる授業づくりを実践する。
 - ・的確なアセスメントの実施と活用を図る。
 - ・可能性を引き出すICT機器の有効活用を推進する。
 - ・専門家と連携し、自立活動の視点を踏まえて授業を展開する。
 - ・新学習指導要領の目標・内容に基づいた指導の充実を図る。
- ② 自立と社会参加に向けた教育活動の充実
 - ・学部の系統性を踏まえたキャリア教育の工夫・改善を図る。
 - ・進路の選択肢を広げる体験的な学習の充実と実践を図る。
 - ・地域資源を活用した体験活動の充実を図る。
(校外歩行、仕事しらべ、職業見学、職場体験、地域貢献など)
 - ・進路相談を充実させ、一人一人に応じた適切な進路指導を行う。

- ③ 安全安心な教育環境の整備と、心身共に健康な児童生徒の育成
 - ・教育環境を整備し、安心して学べる学校づくりを目指す。
 - ・いじめ・不登校・虐待等への予防的取組と組織的対応の充実を図る。
 - ・児童生徒が主体的に取り組む健康教育と防災教育の推進を図る。
 - ・特性に応じた摂食指導、食物アレルギー等の適切な対応を図る。
 - ・ヒヤリハット事例の検証と未然防止を徹底する。
 - ・様々な災害を想定した危機管理体制の強化を図る。
- ④ 地域連携とセンター的機能の充実
 - ・保護者及び地域の関係機関との連携を強化する。
 - ・センター的機能を発揮した地域支援、相談業務等の充実を図る。
 - ・早期支援、就学指導の充実を図る。
 - ・地域交流・学校間交流・居住地校交流等の共同学習を推進する。
 - ・教育活動を積極的に発信する。
 - ・水戸飯富特別支援学校との連携・協働を図る。
- ⑤ 信頼される学校づくり
 - ・服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成を図る。
 - ・風通しの良い職場の醸成と、適切なワークライフバランスに向けた働き方改革を推進する。

(4) 小学部運営

- ① 目指す児童像
 - 笑顔で元気に挨拶する児童
 - 友達と仲良く助け合いながら活動に取り組む児童
 - 新しいことにも挑戦し、目標に向かって最後まで頑張る児童
- ② 運営方針
 - 新学習指導要領の目標・内容に基づいた授業づくりを行う。
 - 児童の生活年齢や発達段階に応じて、一人ひとりの教育的ニーズに基づいた、系統性のあるキャリア教育を推進する。
 - 児童が安心して楽しく学校生活を送れるよう、教員間、保護者や地域、関係機関と連携のもと、共通理解を図りながら、支援にあたる。
 - 交流及び共同学習や居住地校交流等を通して、共に生きる社会の実現に向けた理解・啓発に努めるとともに、早期支援、就学前相談の充実を図る。
- ③ 努力事項
 - 児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実
 - ・単元の目標や授業のねらいを明確にし、児童の学びの一つひとつを大切にできるような「やってみたい」「できた」「わかった」「もっとやりたい」の視点に基づいた、授業づくりに努める。
 - ・生活リズムを確立し、日常生活に必要な生活習慣を身に付けることができる支援に努める。
 - ・ICT機器を活用し指導の効果を高めたり、児童の可能性を広げたりすることができるよう努める。
 - ・部会や学年主任会、学年会等の会議で、情報共有、共通理解を図り、児童のよりよい指導・支援にあたるよう努める。
 - 地域社会と連携したキャリア教育の推進
 - ・小学部段階におけるキャリア教育の指導内容・方法を工夫し、教師や友達と一緒に活動することを通して自分の役割が分かり、自ら取り組むことができる力の育成に努める。
 - ・校外学習や地域貢献などの活動を通して、地域資源を活用した学習の充実を図る。
 - ・これまでの学びを大切に、夢の実現に向けて、自ら課題をやりとげる児童の自律的な取り組みの支援に努める。

- 信頼される安全・安心な学校づくり
 - ・児童の実態を十分に把握し、児童が安心して学べる環境づくりに向けて、保護者と共通理解を図り、指導・支援にあたるよう努める。
 - ・校内ケース会議や支援会議を活用し、学校組織として情報共有をし、ケースによっては各関係機関と連携を図りながら、児童や家庭支援を行うよう努める。
 - ・身体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことで、体づくりの基礎を高めたり、よりよい食習慣の形成を図ったりすることで、心身ともに健康な生活を送ることができる児童の育成に努める。
- 地域に開かれた教育活動
 - ・地域交流や学校間交流、居住地校交流を通して、地域の人とふれ合い、共に活動することにより、社会性を養うとともに、豊かな人間性の育成に努める。
 - ・体験入学、学校見学等を通して、就学前相談や就学指導の充実を図る。

(5) 中学部運営

① 目指す生徒像

- 明るく生き生きと活動する生徒
- 自分の良さを生かし、友達と協力する生徒
- 自分の目標に向かって、力を発揮する生徒

② 運営方針

- 新学習指導要領に基づいた授業づくりでは、学習活動を通して生徒自身が「できた」「わかった」という達成感や成就感を感じ、「やってみたい」と次の学びにつながるような授業の工夫・改善に努める。
- 生きる力、働く力の育成を目指し、系統性や学びの連続性のある中学部段階のキャリア教育を推進する。
- 教員間及び家庭、地域、関係機関との連携を密にし、生徒及び保護者にとって、心身共に安全・安心な学びの場づくりに努める。
- 体験学習や交流及び共同学習等を通して、地域貢献に努めるとともに、共生社会への理解・啓発を図る。
- 生徒に効果的な教育活動ができるよう、教員の業務精選及び共有を図り、働き方改革を推進する。

③ 努力事項

- 生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
 - ・学習で育てたい資質・能力を明確化し、生徒の実態や指導内容に応じて、一人一人の目標を設定し、生徒が分かる喜びと学ぶ楽しさを味わえる授業づくりと授業力向上に努める。
 - ・基本的生活習慣を身に付けるため、場や状況に応じた身だしなみやマナーに意識を向け、行動できるようにする。
 - ・ICT機器を活用し、生徒が主体的に学ぶ環境の充実に努める。
- 自立と社会参加に向けた教育活動の充実
 - ・系統性を踏まえたキャリア教育を推進するため、作業学習や職業・家庭、総合的な学習の時間等の授業の充実に努めるとともに、地域資源を活用した職場見学や仕事体験、校内作業実習等の体験的な学習を設け職業に関する知識や達成感・成就感を得られることで、将来の夢や希望をもつことができるようにする。
- 地域社会に開かれた教育活動
 - ・学校見学や体験学習、交流及び共同学習等を実施し、地域の人々への特別支援学校や障害のある生徒の理解・啓発を図り、共生社会の実現に努める。

- 信頼される安心・安全な学習環境づくり
 - ・生徒一人一人の合理的配慮について、生徒及び保護者と十分に共通理解を図って指導・支援にあたり、安心して学べる環境づくりに努める。
 - ・体力づくりの習慣化や防災教育で生徒が自ら取り組める場を設定し、安全で豊かな生活を送る基礎づくりを目指す。
- チーム中学部
 - ・生徒に身に付けさせたい力について教員間で共通理解を図るとともに、効果的に教育活動ができるよう、教員一人ひとりの得意分野を生かし、適切に業務を精選・分担して指導・支援にあたる。

(6) 高等部運営

① 目指す児童像

- 明るく、前向きに活動する生徒
- 認め合い、助け合い、励ましあう生徒
- 自分の夢をえがき、なりたい自分に近づこうとする生徒

② 運営方針

- 新学習指導要領の目標及び内容を踏まえ、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた個別の指導計画の作成及び指導の充実を図る。
- 地域資源を活用した学習活動の実践や、卒業後の社会生活を見据えた現場実習・職場体験を通して、生徒一人一人の夢や希望に応じた進路指導の充実を図る。
- 生徒一人一人の障害の状態や特性、教育的ニーズの把握に努め、安全・安心な学校生活ができる教育環境の整備と心身の成長を目指した支援の充実を図る。

③ 努力事項

- 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
 - ・新学習指導要領の目標及び内容を、年間指導計画や個別の指導計画に適切に設定し、個々の生徒の障害に配慮しつつ、「できた」「わかった」「もっとやりたい」を実感できる授業実践に努める。
 - ・各教科等の指導において、ICT の積極的な活用と、障害の特性を補う代替手段としての活用及び実践に努める。
- 自立と社会参加に向けた教育活動の充実
 - ・地域と連携した作業学習・地域交流・地域貢献活動等の充実を図り、障害に対する理解啓発と卒業後に地域社会の一員として主体的に社会参加できるよう努める。
 - ・小学部・中学部と積み重ねてきた学習内容の系統性を踏まえ、個に応じた「なりたい自分」を目指したキャリア教育を充実させるとともに、保護者（施設）や関係機関と連携を密にした進路支援に努める。
- 安全安心な教育環境の整備と、心身共に健康な児童生徒の育成
 - ・誰もが安心して学校生活が送れるよう学習環境を整備し、健康教育（感染症対策を含む）や防災教育を通して、自らの命を守る意識と適切な対策及び行動がとれるよう努める。
- 地域連携とセンター的機能の充実
 - ・月1回の部便り発行を通して、保護者（施設）との連携及び積極的な情報発信に努める。
 - ・学区内の中学校及び水戸飯富特別支援学校との連携を図り、教育相談の充実と2年目を迎えた高等部の積極的な情報発信に努める。
- 信頼される学校づくり
 - ・同僚が安心して相談できる体制づくりを心がけ、ワークライフバランスを意識した働き方改革に努める。